

令和3年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（保健体育）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 第3学年の体づくり運動の学習について、下の表1【単元計画】を作成した。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

＜表1＞【単元計画】

時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目	8時間目
	あいさつ・健康観察・めあての確認							
第3学年の学習の流れ	10分	1 オリエンテーション ・学習を見通す	1 体ほぐしの運動 ・運動を継続する意義を理解する ・ <u>a 体の構造</u> を理解する					[まとめ] 1 全体発表 ・作成した運動計画を全体に発表する
	20分		・運動の原則を理解する ・手軽な運動を実践する ・ <u>b グループで手軽な運動を選択して実践する</u>					
	30分	2 体ほぐしの運動 ・手軽な運動の実践	2 実生活に生かす運動の計画と実践	[課題発見] ・運動計画の作成について理解する	[課題解決①] ・ <u>c 個人の運動計画を作成する</u>	[課題解決②] ・各自が作成した運動計画をグループ内で発表する	2 意見交流 ・よさや改善点等を伝え合う 3 まとめ ・今までの学習を振り返り、今後の生活に生かせるようにする	
	40分	・心身の状態に気付く	・日常生活を振り返り、自己の体力に関する課題を把握する ・自己の体力に関するねらいを設定する	・作成した運動計画を基に、運動に取り組む	・ <u>d 互いに評価し、意見交流する</u> ・運動計画を見直す ・見直した運動計画の運動に取り組む			
	50分	3 学習のまとめ・振り返り・次時への見通し・片付け						

(1) 下線部aについて、生徒にどのようなことを理解させるのか、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編を踏まえ、簡潔に書きなさい。

(2) 下線部bについて、用具を使いリズムに乗って仲間と楽しむ運動を紹介したい。どのような運動が考えられるか、書きなさい。

(3) 下線部cについて、運動計画を作成する際の留意点を書きなさい。また、家庭などで日常的に行える体の柔らかさと力強い動きを高める運動例をそれぞれ書きなさい。

(4) 単元の課題解決②では、各自が作成した運動計画をグループ内で発表し、下線部dを行うこととした。意見交流が運動計画の見直しにつながるような教師の手立てについて、具体的に書きなさい。

2 第2学年の陸上競技「走り高跳び（はさみ跳び）」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 単元の前半は、助走を意識した跳躍練習の場を設定することとした。次の①、②の問いに答えなさい。

① より高いバーを越えるためには、「リズムカルな助走」から力強い踏切につなげることが大切である。「リズムカルな助走」とはどのような助走か、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編を踏まえ、書きなさい。

② 生徒に「リズムカルな助走」を意識させるための練習方法を具体的に書きなさい。

(2) 単元の後半は、「力強い踏切」から大きな動作を意識した跳躍練習の場を設定することとした。次の①～③の問いに答えなさい。

① 力強く踏み切ることが苦手とする生徒に対して、力強く踏み切る動きを身に付けさせたい。特に、「踏み切り一歩前」に焦点をあて、生徒に確認させたい動きを書きなさい。

② 生徒に「力強い踏切」を意識させるための練習方法を、具体的に書きなさい。

③ 跳躍の頂点とバーの位置が合わずに、足を引っかけてバーを落としてしまう生徒がいた。そこで、お互いに見合う学習を設定し、その課題に気付かせたい。どのような手立てが考えられるか、具体的に書きなさい。

(3) 単元のまとめと振り返りの場面において、学習の成果を生徒に実感させたい。「記録の向上」以外に、生徒に成果を実感させる手立てを、具体的に書きなさい。

3 第1学年の水泳の学習について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 「スタート」と「ターン」について、次の①、②の問いに答えなさい。

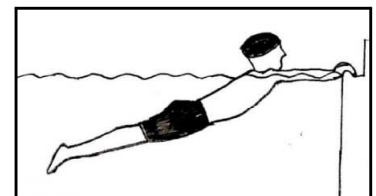
① 「スタート」した直後、スムーズに泳ぎだすために「け伸び」の姿勢を身に付けさせたい。「け伸び」とはどのような姿勢のことか、具体的に書きなさい。

② 基本的な「ターン」の正しい技能を身に付けるために、二人組を作り生徒同士で教え合う活動を取り入れた。互いの課題に気付かせるためにはどうすればよいか、具体的に書きなさい。

(2) 「クロール」の学習について、呼吸動作が正しくできているかを確認するため、ペア活動を行うこととした。互いに見合う際の視点を具体的に書きなさい。

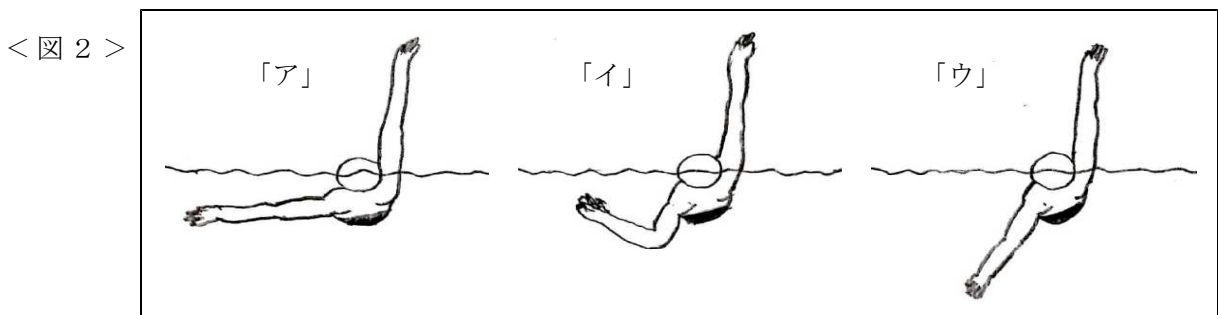
(3) 「平泳ぎ」の学習について、次の①、②の問いに答えなさい。 <図1>

① 壁を使って「キック」の練習をすると、図1のように下半身が沈んでしまう生徒がいた。体を水平に保つためには、どのような練習の工夫が考えられるか、体の使い方と道具を使った工夫をそれぞれ書きなさい。

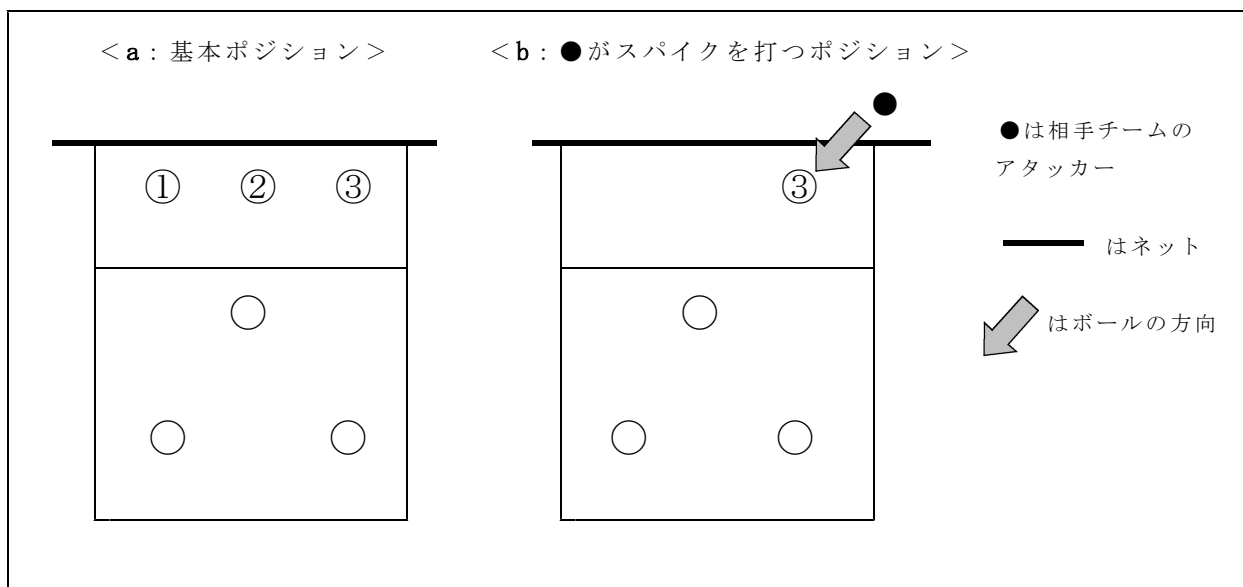


② 足の裏全体で蹴り出せない生徒に、正しい「キック」の感覚をつかませたい。生徒の足の動きを補助する場合、「親指の向き」に気を付けた補助の仕方を具体的に書きなさい。

(4) 「背泳ぎ」の手のかき（プル）について、左手の水中動作で理想の位置を、図2の「ア」～「ウ」から選んで書きなさい。また、その理由を書きなさい。



- 4 第3学年の球技「バレーボール」の学習について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。
- (1) 「アンダーハンドパス」において、次のA、Bのような課題がある生徒に対し、指導する際の技術的なアドバイスを、それぞれ具体的に書きなさい。
 A ボールの飛距離が出ない
 B ボールが思った方向に飛ばない
- (2) 「ダブルコンタクト」について、次の①、②の問いに答えなさい。
 ① 「ダブルコンタクト」とは、どのような反則か書きなさい。なお、「ブロッカー」という語句を入れることとする。
 ② 「ダブルコンタクト」をしてしまう原因は何か、具体的に書きなさい。
- (3) 「仲間と連携した攻撃を展開する」ことをねらいとした簡易ゲームを行うこととした。仲間と連携した攻撃にするために、どのようなルールの工夫が考えられるか、具体的に書きなさい。
- (4) 図3のaを基本ポジションとし、bの位置で相手(●)がスパイクを打つ時、③がブロックに入る作戦を立てた。解答用紙に①と②のポジションを書きなさい。また、その意図も書きなさい。
 <図3>



- 5 第1学年の武道「柔道」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。
- (1) 柔道において、「礼」を重んじその形式にしたがうことは、どのような態度を形に表すことか、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説保健体育編を踏まえ、書きなさい。
- (2) 「受け身」について、次の①、②の問いに答えなさい。
 ① 「後ろ受け身」をする際、どのような動きを身に付けることが必要か、具体的に書きなさい。
 ② 投げられることに対して、怖さを感じている生徒がいる。投げ技と関連させて「受け身」を指導する際、「受」の生徒が安全に受け身を取れるように、段階的な指導が必要である。段階的な指導方法を具体的に書きなさい。

(3) 投げ技「支え釣り込み足」の練習について、次の①～④の問いに答えなさい。

- ① 二人一組で投げ技の練習を行う際、「場の設定」と「約束練習」について、安全面で配慮すべき事項を、それぞれ具体的に書きなさい。
- ② 「膝車」に続いて「支え釣り込み足」を指導することとした。この意図を書きなさい。
- ③ 「崩し」から「体さばき」と「技のかけ」を一連の動作として身に付けさせるための指導の工夫を、具体的に書きなさい。
- ④ 二人一組の約束練習で相手を崩して投げられるよう、「手」と「足」の使い方のアドバイスを、具体的に書きなさい。

6 第1学年の保健「心身の機能の発達と心の健康」について、下のような表2【欲求やストレスへの対処と心の健康】を設定した。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

＜表2＞【欲求やストレスへの対処と心の健康】

時	めあて	主な学習活動
1	心と体はどのような関わりがあるか考えよう。	・ <u>a</u> 心の状態が体にあらわれたり、体の状態が心 にあらわれたりするの、神経などの働きによることを理解する。
2	欲求不満への対処について、適切な対処法を考えよう。	・ <u>b</u> 3つの欲求について整理する。 ・ 対処方法として考えられる行動について話し合う。
3	<u>c</u> ストレスとは、どのようなものかを考え、心の発達の上でどのような影響があるか考えよう。	・ ストレスの原因や起こる感情について調べ、整理する。 ・ ストレスと心の発達について理解する。
4	心の健康を保つための様々な対処法を身に付けよう。	・ 様々な対処方法があることを知り、自分に合った対処方法を見付ける。 ・ <u>d</u> []の方法を身に付ける。

(1) 下線部aについて、心の状態と体の状態が互いに関わっていることを生徒に気付かせるための発問を、具体的に書きなさい。

(2) 下線部bについて、「生理的な欲求」「心理的な欲求」とあと1つを書きなさい。

(3) 下線部cについて、「ストレス」とはどのような状態のことか、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編を踏まえ、書きなさい。

(4) 下線部dでは、実習（体験的な学習）を行うこととした。[]に当てはまる語句を、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編を踏まえ、書きなさい。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名
-----------	---------	------	----

(3年)

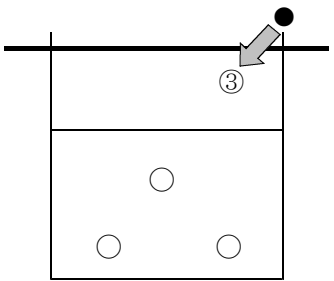
1	(1)	
	(2)	
	(3)	<留意点>
		<運動例>
(4)		

2	(1)	①	
		②	
	(2)	①	
		②	
		③	
	(3)		

3	(1)	①		
		②		
	(2)			
		(3)	①	<体の使い方の工夫>
				<道具を使った工夫>
(3)	②			
(4)	<位置>			
	<理由>			

保健体育 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	氏名
-----------	---------	------	----

(3年)

4	(1)	<A> ----- 	
	(2)	①	
		②	
	(3)		
	(4)		<意図>

5	(1)		
	(2)	①	
		②	
	(3)	①	<場の設定> ----- <約束練習>
		②	
	③		
	④		

6	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名	(3年)
-----------	---------	------	----	------

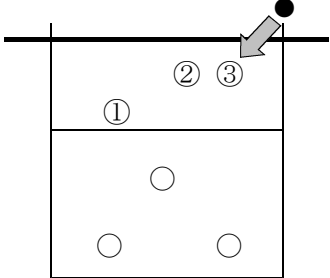
1	(1)	関節や筋肉の働き など	(2点)
	(2)	2本の棒を使ったバンブーダンス など	(2点)
	(3)	<留意点> 運動のねらいや時間、場所、種類、程度（運動強度、時間、回数）に着目させる。など	(2点)
		<運動例> 座った状態で開脚し上体を倒す運動と腕立て伏せ。など	(2点)
(4)	プログラム作成の留意点が記載してある学習カードや掲示物を活用して意見交流させる。など	(2点)	

2	(1)	①	スピードよりもリズムを重視した踏み切りに移りやすい助走。など	(3点)
		②	足をつく場所にマーク等を示し、手ばたきや太鼓等の音のリズムに合わせて助走する練習。など	(4点)
	(2)	①	腰の位置を低くして、上体をおこしている。など	(3点)
		②	高い位置にゴムバーをかけ、ゴムバーを目指して強く踏み切り、跳び上がる練習。など	(3点)
		③	バーの横から仲間に踏切位置を見てもらい、跳躍後、踏切位置にマークを置き、踏切位置を確認させる。など	(4点)
	(3)	単元前後の動きをタブレットに動画や写真として記録し、動きを比較させて、成長した部分を具体的に伝える。など	(3点)	

3	(1)	①	手を重ねて肘を伸ばし、腕は耳の後ろ（もしくは横）にもっていき、全身をまっすぐに伸ばしてなるべく水の抵抗を受けない姿勢。など	(3点)
		②	技能のポイントが書かれている図や絵のカードをペアごとに準備し、ターンの動きを比較させる。など	(3点)
	(2)	あごを引いて、顔が横を向いているか。など	(3点)	
	(3)	①	<体の使い方の工夫> 片方の手で水中の壁を支える。など	(2点)
			<道具を使った工夫> お腹の下にビート板を入れる。など	(2点)
		②	足の親指を外向きにして両方の足の裏をにぎり、両足がそろうまで誘導する。など	(4点)
(4)	<位置> イ	(1点)		
	<理由>	一番、力が入る位置で、動きの効率がよいから。など	(2点)	

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	氏名	(3年)
-----------	---------	------	----	------

4	(1)	<p><A> 膝のを使ってボールに力を加えよう。など (2点)</p> <p>-----</p> <p> パスする方向にボールを当てる面を向けよう。など (2点)</p>
	(2)	<p>① ブロッカーを除き、同じプレイヤーが続けて2回ボールに触れること。など (3点)</p> <p>② 左右の手や腕のバランスがくずれ、片手ずつでボールに触れてしまう。など (3点)</p>
	(3)	セッター役の生徒はボールをキャッチし、ボールを投げてトスを上げることができ、スパイクを打ちやすくするルール。 など (4点)
	(4)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>例</p>  <p>(2点)</p> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p><意図></p> <p>ネット際で止めるように②をブロックにつけ、①はそのカバーとして少し下がってレシーブに備えるため。など</p> <p>(4点)</p> </div> </div>

5	(1)	自分を律するとともに、相手を尊重する態度 など (2点)
	(2)	① 帯を見るようにしてあごを引き、背中が畳につく瞬間に両方の腕全体で畳を強くたたく。など (3点)
		② 座った姿勢、膝立ちの姿勢、立った姿勢と順に低い位置からの受け身に慣れさせていく。など (3点)
	(3)	① <場の設定> 周りとは接触しないように、いくつかのグループに分けて順番に行わせる。など (2点)
		<ペア学習> 取は、引き手を離さないように投げることを指導する。など (2点)
		② 技の系統別にまとめて扱うようにするため。など (2点)
③ かかり練習で、「崩し」での手の位置や「体さばき」での足の位置を確認し、かけ声に合わせて技をかける。その後、約束練習で一連の動作を身に付けさせる。など (3点)		
④ 引手側の足裏を相手の足首(くるぶし)にあて、釣り手と引手を車のハンドルを回すようなイメージでひねりながら投げてみよう。など (3点)		

6	(1)	緊張したときに体にどのような変化が起こるだろうか。など (2点)
	(2)	社会的な欲求 (2点)
	(3)	外界からの様々な刺激により心身に負担がかかった状態。など (3点)
	(4)	リラクゼーション または コミュニケーション (3点)